

課題番号 : F-17-NU-0063  
利用形態 : 機器利用  
利用課題名(日本語) : 医療用マイクロデバイスとマイクロ流体デバイスの研究  
Program Title (English) : Research of Medical Micro-devices and Micro-fluidic devices  
利用者名(日本語) : 馬場雄也, 岩本佑太, 小塚太郎, 福田敏男  
Username (English) : Y. Baba, Y. Iwamoto, T. Koduka, T. Fukuda  
所属名(日本語) : 名城大学理工学部  
Affiliation (English) : Faculty of Mechatronics Engineering, Meijo Univ.  
キーワード/Keyword : リソグラフィ・露光・描画装置, Bio-micro-nano system, Mechatronics

### 1. 概要(Summary)

当研究室で作成している医療用デバイス, マイクロ流体チップ作成のために, ナノテクプラットフォーム事業に登録されているマスク作製機器を使用し, 高精度なデバイス作製を実現した.

### 2. 実験(Experimental)

【利用した主な装置】 レーザ描画装置一式、両面露光用マスクアライナ

#### 【実験方法】

実験においては, レーザ描画装置一式, 両面露光用マスクアライナ, D-UV 等を用いて, 製作を行った. マイクロ流体チップについては, SU-8 により型を作成した. その型の作成には, マスク作成装置にて, クロムマスクを作製した. SU-8 をシリコンウエハーに塗布し, そのマスクをもちいて, 露光装置にて露光を行い, 高さ約 120 ミクロンの型を作成した. その型に高分子素材である PDMS を流し込み型の形状を転写することで, 高精度な流路の作成を実現した.

また, マイクロスケールでの細胞組み上げのためのチップとして, ゲルを融解しマイクロチャネルを作製するチップの作成を行った. これには, マスク作成装置, 露光装置, スパッタリング装置を用いた.

### 3. 結果と考察(Results and Discussion)

作製したマスクを Fig.1 に示す. 今回作成したマイクロ流路では, 作成した微小構造体を組み上げる必要があり, 精度として, 数ミクロンオーダーの精度が必要となる. また, 作成した SU-8 の型を Fig.2 に示す. 本研究では, 2 層構造のマイクロ流路が必要となるため, 同様の型を 2 個作製し, 2 段露光を行っている. 露光には両面露光用マスクアライナを用いて, アライメントを行い, 位置合わせを行った.

また, 厚みについて, 段差計を用いてレジストの厚みを計測し, 高さ方向の制御を行っている.



Fig.1 Cr mask.

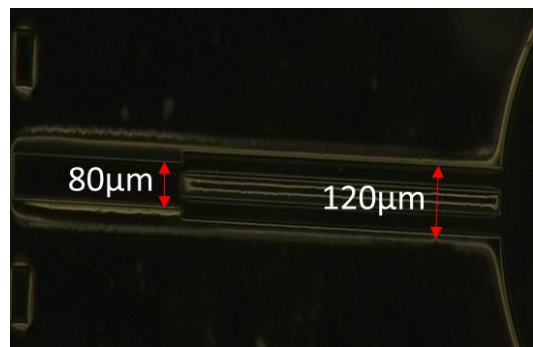


Fig.2 Su-8 mold.

### 4. その他・特記事項(Others)

なし.

### 5. 論文・学会発表(Publication/Presentation)

なし.

### 6. 関連特許(Patent)

なし.